

意欲を高め自信につなげる指導の工夫

改善のポイント

文章題を解く過程で有効な絵や図を取り入れることにより、児童が文章題の内容を正しくとらえることができるようにする。 取組例

数を扱う上での基礎となる十進位取り記数法の指導を丁寧に行う。

計算のミスを少なくするために、かけ算筆算、繰り下がり引き算の指導を丁寧にする。

漢字を正しく読む力を身につけ、自信をもって楽しく漢字学習に取り組めるようにする。

児童が喜んで取り組める音読の仕方を工夫し、すらすら音読ができるようにする。 取組例

児童の生活実態調査を行い、保護者と連携して意欲的に学ぶ態度を育てる手だてとする。

取組例

文章題を解く過程で、テープ図や三段ボックス、かけわり図を取り入れる。

1・2年の加法・減法の文章題を解く上で大切なのは、書かれている文章の内容を正しく理解すること。そのために、右のようなテープ図を取り入れ、与えられた数を整理した上で演算決定するよう指導する。

2年以上の乗法・除法の文章題を解く過程では、文章を整理し理解する方法として、右のような三段ボックスやかけわり図を取り入れ演算決定できるようにする。

① (テープ図)

はじめ	8
へった	2
のり	?

 $8 - 6 = 2$

はじめ	2	もらった	3
ぜんぶ			
?			

 $2 + 3 = 5$

はじめ	3	もらった	?
ぜんぶ			
6			

 $6 - 3 = 3$

② (三段ボックス) (かけわり図)

1あたり	?	こ
いくつ分	3人	
ぜんぶ	12こ	

 $12 \div 3 = 4$

20円	?	円
1冊	2.5冊	
20円 × 2.5冊 = 50円		
50円		

6こ	24こ
1人	?
24こ ÷ 6こ = 4人	
4人	

※ 名数図や単位をつける方が正しく立式できる。

取組例

子どもたちが意欲をもって取り組める場の設定、音読の仕方を工夫する。

全校朝会時、学年ごとに音読発表会を開き、学年相互に感想や意見を発表し合うことにより、音読への意欲を高める。

・全校児童の前で発表するため練習にも熱心に取り組んだ。月末には、自己反省チェック表を使って音読のポイントを押さえた指導を行う。

・低学年は、チェック表の得点を意識して音読に気をつけるようになった。高学年は、グループ学習や群読を取り入れると効果的であった。

授業の中では、発達段階に応じて、様々な音読の手法や形態を取り入れた指導を行う。

(速読み、リレー読み、追い読み等)

